



Light Up Rotary  
「ロータリーに輝きを」

第 2467 回例会 2014 年 9 月 3 日 (水) SAA (司会) / 西村美和子会員 会報担当/箕輪会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1

- 点 鐘 市原 RC 会長 宮地勝廣
- ソング 君が代・奉仕の理想・4 つのテスト
- お客様 袖ヶ浦 RC 飯田 様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 宮地勝廣



皆様こんにちは。  
先日のガバナー公式訪問も無事に終わり皆様お疲れ様でした。本年度の会長・副会長・幹事の懇談会は市原中央RCとの合同で受ける様になりまして、宇佐見ガバナーからの指摘も特になく、ガバナーから

の本年度の地区の運営方針等の説明が殆どでした。クラブ活動計画書をご覧になると分かるように、本年度は運営方針が変わっております。本来地区にはロータリー情報研究会がございましてロータリークラブ入会 3 年未満の若いロータリアンの方を中心に研究をしてきましたが、近年新入会員も少なくなり、又、炬辺会議等も少なくなりロータリー情報研究会が中途半端な形になっている事を懸念しておりました。そこでこの度、各クラブの方に研修リーダーを設けて頂き、ロータリーの研修リーダーの方を育成して行きたいと思っております。研修リーダーはクラブ内の教育だとか、ロータリーの細則とかその他もろもろの事を勉強して頂こうと言う事です。これは今年度だけではなく、次年度以降も実施導入して頂きたいと考えております。次年度の桜木ガバナー年度においても導入して頂き継続して行く様をお願いをしていこうと考えております。

其の為に、本年度の方針を早く伝えて行くために各クラブの協力を得て合同の公式訪問とさせて頂いた訳でもあります。大体 11 月中旬には訪問を終了して、その後仕上げとして地区大会を実施したいと考えているとの事です。

その時の卓話者として鈴木宗雄さんと呼び牢獄からと題して話をしてもらう予定と言う事らしいです。まだ予定という段階です。又、本年度の地区大会はおおいにぎわって頂き、お祭り騒ぎにしたいそうです。話は変わりますが、2016 年度に手続き要覧が変更になりますが、2014 年 12 月までに改正案を提出しなければならないと言う事で、2790 地区からもできれば改正案を出したいと思っております。と言う事で各クラブから改正案を出してみたいと思われるクラブが有ればお願いしますとの事でした。まだお話は続きますが次回にお伝えしますと言う事で、会長挨拶とします。

### ●幹事報告

1、万崎会員のお母様が、お亡くなりになりました、メールでお知らせのと

うり、通夜9/4 18:00～告別式9/5 11:00～あります、のでお知らせいたします。

2、宇佐見ガバナーより8/20 広島土砂災害支援義捐金のお願いがきています、会員一人 1000 円目安で各クラブおとりまとめ頂きたいとの事でした、理事会では一人 1000 円で承認されましたので、ご報告致します。

3、米山記念奨学会への寄付者

津留会員、宮地会員、本郷会員、三宅会員、始関会員、上條会員、鶴岡会員、平野会員、上野会員、篠田会員、長田会員、福原会員、宮武会員、万崎会員、小澤会員

・ロータリー日本財団-ポリオプラス基金への寄付者  
宮武会員 1000\$

上記の方々より寄付が有りましたので報告致します。

### ～委員会報告～ 岡本国際奉仕委員長

市原中央高校 IAC がマレーシアから無事帰国しました。9月10日の例会で報告会がありますので皆様楽しみにしてください。

## ～メインプログラム～

### 小澤会員による新入会員卓話 (次ページ)



### ●ニコニコ・ソーリー

#### 宮地会長・本郷幹事

本日は会員増強フォーラムで、またみなさんの会員増強への気持ちが少し高まったと思います。ありがとうございます。

### ●出席報告

前々回確定 71.43% 本日出席 33 名

欠席 9 名 本日出席率 78.57%

●点 鐘 市原 RC 会長 宮地勝廣

貴重なお時間をいただきありがとうございます。5月に入会をさせていただきました小澤と申します。自己紹介を兼ねてお話をさせていただきたいと思えます。

私は特に趣味があるわけではありませんが、休日には庭の片隅の5坪ほどの畑で、なすやみょうが、オクラ、ジャガイモなどを作るのを楽しんでいます。趣味とは言えませんが、野球が好きで、今でも草野球をしています。

小学校時代、昭和40年代に地元袖ヶ浦市に少年野球チームはありませんでした。昭和50年代にチームができ始め今では少年野球チームがたくさんあり、父母会が組織され、送迎係りやお茶当番、グラウンドの整備係りなどの役割を決めているチームが殆どです。3月から8月のシーズンには野球大会が数え切れないほど実施されホームグラウンドで練習する日がないくらいです。

私は中学の時、軟式野球を始めました。父親を小学生の時に亡くしましたので働いている母親が野球を見に来ることはありませんでした。仮に父親が健在であったとしてもおそらく野球を見に来ることはなかったのではないかと思います。チームメイトの親御さんたちも子供の野球を見に来ることは殆どありませんでした。当然、父母会などなく、学校任せになっていた時代でした。こどもと一緒に何かを楽しむような時間的な余裕のなかった時代だったのだと思います。

高校で硬式野球部に入部しました。やはり父母会などはなく、OB会が資金の援助や指導に携わってくれましたが、戦績は芳しくはありませんでした。2年の春の大会でベスト16位となりCシードで夏の大会に臨みましたが一回戦負け、3年の最後の年も1回戦で敗退しました。野球で自慢のできることは何一つないまま終わりました。

今では母校にも父母会があり子供の支援をしています。ある高校の父母会では試合の応援席に座る位置まで決められており、空席になると誰が応援に来ていないかわかるようになっていて、後でいろいろなことが起こるそうです。それくらい親が夢中になっています。時代が変わったとつくづく感じます。

大学では専らパチンコと麻雀に明け暮れながらも、草野球を続けていました。

木更津信金に就職し、軟式野球部に入部しました。A級のチームでしたので

一定レベルのチームでした。全国軟式野球大会の千葉県代表を目標としていましたが、京葉銀行や千葉銀行、松戸市役所、習志野市役所など強豪チームがたくさんあり、代表になるのは大変でした。この全国大会で千葉県の代表として京葉銀行は6度優勝、千葉銀行も1度優勝しています。

私は京葉銀行との練習試合中の接触プレイで右ひざの前十字靭帯を断裂し、靭帯移植手術等を6、7回しましたがおもわしくなく現役を退きました。

その後は長男になんとかサッカーではなく野球をやらせようと仕向けました。あまり乗る気でなかった長男に「少年野球チームの練習を見に行くだけだ」、「チームに入らなくてもいい」といいつつ連れ出したりした結果、長男は小学4年から少年野球を始めました。

以降、私は少年野球に永い間関わりを持つようになりました。

少年野球は、野球の技術の向上を目指しつつ礼儀作法やチームメイトとの協調性、忍耐力、体力、ルールを守る大切さを学ぶ、子供たちの教育の場の一つで、そういう場で多少なりとも協力しているんだということに自己満足を感じ13年活動しました。

少年野球を傍から見てみると決して技術レベルは高くありません。監督、コーチなどの指導者は、暇で好きでやっつていように見えます。実際に自分がやってみると土曜日、日曜日が活動日であり、休日が休日になりません。少年野球に拘束され家庭が疎かになった崩壊した家庭も知っています。

「一生懸命に練習にでてくるけどなかなか上達しない子供」と「練習をさぼってばかりいるが身体能力の高いこども」のどちらをレギュラーにするのか。

「バントを多用するのか」、「それともバンドさせるのではなく遠くにとばす喜びの機会を増やすのか」。

こういったことも実際に少年野球に携わってみないとわからない悩みです。

この時期の子供たちの成長は著しく、毎日成長しているのがよくわかります。昨日できなかったことが今日できるようになる。きのうは10メートルしか投げられなかったのに次の日には20メートル投げられるようになる。それを一緒に確認できた時は感激します。子供たちの嬉しそうな顔を見るのはうれしいものです。

野球をやってきた経験から言えることは、はたから見ただけではわからないこと、実際にやってみないとわからないことが沢山あり、昔は常識であったことが今では非常識と考えられていることがあることです。

宴会の幹事をしたことのない人は、よく、場所が遠い、会費が高い等の文句を言います。ですから私はそういう人に次回の幹事をお願いするようにしています。やってみないと幹事の苦勞がわからないからです。

私が中学生のころは下半身強化のために「うさぎ跳び」をやらされました。今ではひざを壊す原因になるとしてタブーです。肩を冷やしてはいけないのでプールに入るのは極力避けるように指導を受けていました。

更に、高校生のころは練習中に水分補給など許されませんでした。外野にボールを拾いに行くついでにタオルに水道水をしみこませ先輩にわからないように吸ったものです。ある高校ではボール拾いの際、濁った川の水を隠れて飲んでいたそうです。

今ではどうでしょうか。水泳は体力づくりのために多く取り入れられ、適度の水分補給は指導者が最も気にかけていることの一つです。

昔の常識は今では非常識である典型がうさぎ跳びや水分補給です。

野球に限ったことではありませんが、時代とともに常識は変わってきているのだと思います。

インターネットが普及し、情報が氾濫しています。正確な情報も間違った情報も氾濫をしています。自分で経験することでその情報が正しいかを確認すること、情報をうのみにせずその情報は正しいのか、間違っているのかを仕分けする意識が大切だと感じています。

私はタバコを止められずにいますが、もしかしたら30年後には「タバコは体にいい」ということになるかもしれません。

つまらないお話になってしまいましたが、以上で終わりにさせていただきます。ご静聴、ありがとうございました。